

令和6年度第1回 妙高山・火打山地域入域料部会

日 時：令和6年4月22日（月）

午後3時00分から

会 場：妙高市役所3階303会議室

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 報告事項

(1) 令和5年度 入域料事業報告について

(2) 令和5年度 入域料特別会計決算報告について

4 審議事項

(1) 令和6年度 入域料事業計画（案）について

(2) 令和6年度 入域料特別会計予算（案）について

(3) その他

5 閉 会

令和6年度 入域料部会委員名簿

R6.4.1現在

	委員枠	所属	氏名	役職	備考
1	学識経験者	東京農工大学 名誉教授	土屋 俊幸	部会長	会場
2	学識経験者	新潟ライチョウ研究会 代表	長野 康之		WEB
3	自然環境保全 団体	新潟県生態研究会 会長	藤本 孝昭		会場
4	観光事業者	妙高ツーリズムマネジメント 事務局長	関原 一義		会場
5	山岳ガイド	インフィールド 代表	中野 豊和		WEB
6	林野庁	関東森林管理局 上越森林管理署 署長	田中 直哉		WEB
7	新潟県	環境局 環境対策課 自然共生室 室長	川口 晴男		WEB(代理) 自然共生室副参事 皆川 寛樹 自然保護担当 朽木 駿亮
8	環境省	信越自然環境事務所 国立公園課 課長	鈴木 祥之		会場
9	環境省	妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	関 貴史		会場
10	妙高市	観光商工課 課長	丸山 豊		会場
11	妙高市	環境生活課 課長	岡田 雅美		会場

報告事項（1）

令和5年度 入域料事業報告について

1 入域料充当事業

（1）ライチョウ保護対策事業

予算額 2,500,000 円 決算額 1,504,950 円

（執行差額 995,050 円はR 6 へ繰越）

①妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査

予算額 500,000 円 決算額 0 円

※ 環境会議一般会計予算 1,674,000 円と合計して 2,174,000 円で事業執行を計画していたが、環境会議一般会計予算負担分（決算額 1,397,257 円）のみで執行ができたため入域料会計から支出しなかった。

②令和5年度頸城山塊ライチョウ個体数調査法検討事業

予算額 1,000,000 円 決算額 990,000 円

A) 個体数推定法のレビュー

（高精度、高確率なライチョウ個体数の測定方法の検討）

B) 個体数の調査

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査

予算額 1,000,000 円 決算額 500,000 円

※ 当初1検体8万円で12検体の調査を見込んでいたが、環境省紹介の山形大学協力のもと、所有する32検体を50万円で発注することができた。

④その他事業実施のためのボランティア保険料及び振込手数料等

決算額 14,950 円

（2）登山道整備事業

予算額 1,810,000 円 決算額 1,419,825 円

（執行差額 390,175 円はR 6 へ繰越）

①妙高山火打山地域における登山道整備事業

予算額 1,210,000 円 決算額 888,525 円

妙高山登山道 光善寺池～鎖場他の近自然工法による登山道整備

※市発注額 1,184,700 円 環境会議の負担割合 75%

※別紙報告書添付

②火打山登山道足洗い場設置

予算額 200,000 円 決算額 131,892 円

- ・ 8月9日設置
- ・ 10月31日撤去
- ・ 令和6年度以降も設置予定
- ・ 看板設置による種子落としの協力依頼

種子落としにご協力を

靴に付着した外来植物の種子を登山前に落とし、山域への持ち込みの防止に取り組んでいます。

靴裏を洗い流してからの登山にご協力をお願いいたします。

※この足洗い場は入域料で整備・管理しています。

生命地域妙高環境会議



③妙高山登山道クサリ場修繕

予算額 200,000 円 決算額 97,900 円

- ・令和5年度に架け替えたクサリ場のクサリについて、1年が経過したことから設置状態の点検を10月12日に実施した。ナット、マイロン等に緩みはなく、アンカーも安定して接着されていた。今後は、通常管理の中での点検、確認を実施していく。

④火打山笹ヶ峰登山口入山者カウンター設置

予算額 200,000 円 決算額 269,500 円

- ・火打山笹ヶ峰登山口付近に登山者数カウンターを設置し運用した。

⑤その他草刈用資材、振込手数料等 決算額 32,008 円

2 その他

(1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典（例：入浴割引ほか入域料特別特典など）を受けられることができる取組をの実施

- ・妙高高原ふれあい会館から入浴料の割引

(2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）

- ・各収受場所におけるポスターの掲示
- ・NHKなどのテレビメディアや、SNSやWEBアプリを活用した広報

(3) 山岳用携帯トイレの普及啓発（笹ヶ峰登山口及び燕温泉登山口での販売、登山口近隣旅館業者に対する取扱いの依頼）

- ・笹ヶ峰登山口での自動販売機による販売：販売数 72 個
- ・燕温泉大日屋での販売：販売数 20 個
- ・笹ヶ峰及び燕温泉登山口に携帯トイレ回収ブースの設置及び定期的な廃棄物の回収

(4) 入域料電子決済の導入（PayPay・Syncable）

- ・PayPay 決済：収受員配置時において実施
収受額 253,000 円（うち支払手数料 5,011 円）
- ・クレジットカード決済（Syncable）：ホームページ、QRコードによる誘導
収受額 23,378 円（うち支払手数料 1,272 円、振込手数料 260 円）
※QRコードは登山口の掲示物に表示

(5) 入域料周知啓発のため、妙高高原ビジターセンター及び関山駅駅舎サロンに入域料紹介ブース（試行収受場所）を設置。

- ・妙高高原ビジターセンターに設置（収受額 182,199 円）
- ・関山駅駅舎サロンは、サロン運営団体において検討の結果、現状設置見送り

報告事項（2）

令和5年度 入域料特別会計決算報告について

1. 歳入

（単位：円）

款	項	目	予算	決算	差額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	132,440	106,130	△ 26,310	市からの会議費に対する負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,600,000	4,855,425	255,425	入域料総額
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	4,266,082	4,266,082	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	51,478	45	△ 51,433	決算利息 45円
合計			9,050,000	9,227,682	177,682	

2. 歳出

（単位：円）

款	項	目	予算	決算	差額	備考	
1 運営費	1 会議費	1 会議費	132,440	106,130	△ 26,310	部会謝金等	
	2 事務費	1 事務費	200,000	162,604	△ 37,396	笹ヶ峰入域料箱作成、收受にかかる消耗品	
	3 広告費	1 広告費	250,000	84,975	△ 165,025	入域料チラシ作成（データ、紙）	
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ保護対策事業	2,500,000	1,504,950	△ 995,050	・頸城山塊ライチョウ個体数調査手法検討委託 ・ライチョウ捕食動物の糞便遺伝子解析によるモニタリング調査業務委託	
		2 登山道整備事業	1,810,000	1,419,825	△ 390,175	・登山道整備委託負担金 ・クサリ場点検委託 ・作業消耗品、ヒュッテ宿泊費ほか	
		3 収受員賃金	400,000	331,980	△ 68,020	笹ヶ峰・燕収受員賃金	
		4 燕管理費	60,000	57,234	△ 2,766	燕温泉登山口管理費	
		5 協力者記念品	1,000,000	994,305	△ 5,695	木製キーホルダー10,000個	
		6 山岳用携帯トイレ購入	50,000	50,710	710	山岳用携帯トイレ180個	
		7 事前決済手数料	10,000	0	△ 10,000		
	2 繰越事業費	1 ライチョウ事業分繰越事業費	2,500,000		2,559,922	2,014,969	ライチョウ事業分 過年度 995,050 当年度 1,564,872
		2 登山道整備事業分繰越事業費			1,955,047		登山道整備事業分 過年度 390,175 当年度 1,564,872
	3 予備費	1 予備費	1 予備費	137,560	0	△ 137,560	
合計			9,050,000	9,227,682	177,682		

【戻入額の考え方】市負担金の会議費については、精算して返納する。

市負担金 132,440円－会議費支出 106,130円＝市会計への戻入額 26,310円

【繰越事業費の考え方】

繰越事業費（事業別）＝過年度繰越事業費＋当年度繰越事業費（当該年度の会計残額を折半）

令和６年度 入域料事業計画（案）について

1 妙高山・火打山地域自然資産地域計画の策定

現計画が令和６年度をもって期間満了となることから、次期計画を策定するもの。

（１）利用者アンケート

入域料に関するアンケートを実施する。

※アンケート項目については、別紙（案）のとおり

※アンケート目標 最低回収数 300 人（１日 10 人×30 日）

前回：対象 2,837 人 回収 1,486 人

（２）スケジュール

令和６年 7 月 アンケート実施（7/1～10/31）

9 月 事務局において、現計画の事後評価

10 月 事後評価及び次期計画方針への意見聴取（第 2 回入域料部会）

令和 7 年 2 月 次期計画（案）への意見聴取（第 3 回入域料部会）

4 月 次期計画の報告及び最終調整（令和 7 年度第 1 回入域料部会）

5 月 妙高環境会議本会への次期計画の報告

2 入域料の収受実施内容

（１）収受場所

①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口

④妙高高原ビジターセンター ⑤インターネットを利用した事前決済

※③新赤倉登山口は、スカイケーブル架け替え工事の状況による。

（２）収受期間

令和 6 年 7 月 1 日（月）から 10 月 31 日（木）まで

（３）収受方法

①笹ヶ峰登山口及び②燕温泉登山口

- ・ 土日祝日等登山者が多く見込まれる日の午前 5 時から午前 10 時まで収受員を配置し有人による収受を行う。
- ・ 収受員は、笹ヶ峰と燕温泉に配置する。
- ・ 収受員賃金等収受コストの効率化を図るため、収受員の配置日数は概ね令和 5 年度を上限とし、笹ヶ峰登山口と燕温泉登山口で交互に収受員を配置するなど減員に向けた措置を取る。
- ・ 収受員配置時は、PayPay での収受も受け付ける（R 5 年度から導入）。
- ・ 収受員が配置されていない時間は、入域料箱で無人による収受を行う。
- ・ 燕温泉登山口において、駐車場トイレ付近に新たに収受箱ブースを設置する（環境会議一般会計にてブース作成）。

③新赤倉登山口（スカイケーブル乗り場）

- ・終日入域料箱による収受を行う。

④妙高高原ビジターセンター

- ・入域料の取組の周知を目的に、入域料箱による収受を行う。

⑤インターネットを利用した事前決済（R3年度からの継続）

- ・クラウドファンディング事業者（Syncable）との契約により実施する。

（4）金額

500円（任意）

3 入域料充当事業

（1）ライチョウ保護対策事業 2,600,000円

①妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査

予算額：1,100,000円（合算事業額1,500,000円）

※生命地域妙高環境会議一般会計と合算事業

箇所：ライチョウ平事業区

内容：・環境改善事業

- ・センサーカメラ調査

- ・イネ科植物除去作業

- ・ライチョウ捕食者に係る糞調査

- ・高谷池ヒュッテにおけるライチョウ捕食者の確認

- ・事業の評価

②令和6年度頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査

予算額：1,000,000円

箇所：火打山及び焼山周辺

内容：・個体数調査

- ・大型哺乳類相調査

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査

予算額：500,000円

内容：・上記①で採取したライチョウ捕食者の糞のDNA分析を行う。

- ・令和5年度の調査結果から、7月以降の成鳥は捕食の実態が確認できなかったことから、令和6年度は、7月上旬までのライチョウのヒナの時期の捕食状況を把握するため、それまでの期間のライチョウ捕食者の糞を採取する。

- ・その糞を、本業務によりDNA分析し捕食状況を把握する。

（2）登山道整備事業 2,000,000円

①妙高山・火打山地域における登山道整備事業

予算額：1,150,000円（歳入充当による市実施事業）

箇所：火打山登山道 富士見平から高谷池ヒュッテ方面

内容：洗堀箇所の登山道整備、周辺の植生回復対応

②火打山登山道足洗い場設置

予算額：100,000 円

箇所：火打山笹ヶ峰登山口付近

内容：令和5年度に作成した足洗い場の改修

③登山道整備資材購入・輸送

予算額：750,000 円

内容：木道整備のための木材の作成、高谷池ヒュッテまでの空輸

□120mm×1mの角材 150 本及びボルト等

4 その他

- (1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典（入浴割引ほか入域料特別特典など）を受けることができる取組を実施
- (2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）
- (3) 山岳用携帯トイレの普及啓発

審議事項（２）

令和６年度 入域料特別会計予算（案）について

１．歳入

（単位：円）

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	199,140	132,440	66,700	市からの会議費に対する負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,800,000	4,600,000	200,000	@500円×9,600名
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	4,514,969	4,266,082	248,887	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	85,891	51,478	34,413	預金利息等
		合計	9,600,000	9,050,000	550,000	

２．歳出

（単位：円）

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	199,140	132,440	66,700	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	1 事務費	200,000	200,000	0	収受に係る消耗品、自動販売機管理ほか
	3 広告費	1 広告費	200,000	250,000	△ 50,000	告知チラシ等
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ保護対策事業	2,600,000	2,500,000	100,000	・ライチョウ生息地回復事業 ・各種分析調査費用ほか
		2 登山道整備事業	2,000,000	1,810,000	190,000	・登山道整備委託負担金 ・木道材料購入費輸送料金ほか
		3 収受員賃金	400,000	400,000	0	休日早朝における収受員賃金
		4 調査員賃金	400,000	0	400,000	計画策定に伴うアンケート調査員賃金
		5 燕管理費	60,000	60,000	0	燕登山口収受・返礼品管理
		6 協力者記念品	1,100,000	1,000,000	100,000	木製ストラップ（@110円×10,000個）
		7 山岳用携帯トイレ購入	60,000	50,000	10,000	携帯トイレ（@300円×200個）
		8 事前決済手数料	0	10,000	△ 10,000	
	2 繰越事業費	1 ライチョウ事業分繰越事業費	1,149,922	2,500,000	△ 100,078	次年度以降のライチョウ保護対策事業へ充当
		2 登山道整備事業分繰越事業費	1,145,047		△ 104,953	次年度以降の登山道整備事業等へ充当
3 予備費	1 予備費	1 予備費	85,891	137,560	△ 51,669	
		合計	9,600,000	9,050,000	550,000	